

外国人住民と高齢者世帯 淞北台会館でセミナー・交流会 自治会 松江市 島大 SIC の協働で実現 7/26(日)

60年代後半に開発された淞北台地域は、高齢化率 30.7%（平成 18 年現在）、分譲住宅地区では 43.8%と県平均の 28.5%（平成 20 年現在）を大きく上回っている。淞北台には 32 世帯の外国人が住んでおり、そのほとんどが島根大学に通う留学生とその家族だ。島根県内在住の外国人は 6 千人弱にのぼり、県内住民の多国籍化は各地で着実に進んでいる。高齢化社会島根での国際化の行方をうらなうイベントが 26 日（日）に行われる。

「家庭ごみの分別区分説明会」と昼食付の交流会は淞北台会館（淞北台 14・20）で 26 日 10:30 から 12:00 まで。外国人住民と顔の見える関係を作っていくための交流会の第 1 弾として開催される。セミナーには松江市リサイクル都市推進課の担当者が講師として参加し、それをしまね国際センターから派遣されるコミュニティ通訳ボランティアが通訳する。

このイベントの仕掛け人は「淞北台いきいきライフを推進する会」会長の高橋博さん。元気に団地内を回ってチラシを配ったり参加を呼びかけたりとご自身がいきいきライフを具現しておられる。平成 18 年には防災マップの作成と連動した「防災トーキング&ウォーキング」企画などを手がけた。活動



を通して「日本人も外国人も関係なく、会ったらお互い挨拶し合う仲」になったというバングラデシュ出身の留学生家族を中核に、さらに連携の輪を広げていく予定だ。

これからさらに高齢化していく住民には体力面での不安がつきものだ。言葉や文化の面から地域で孤立してしまう恐れのある留学生家族と顔の見える人間関係をつくり、双方が助け合える自治体となっていくことが期待される。

この件に関するお問い合わせは 財団法人しまね国際センター 曳野

〒690-0887 松江市殿町 8-3 タウンプラザしまね 3F

TEL: 0852 (31) 5056 FAX: 0852 (31) 5055

E-mail: hikino_nagisa@sic-info.org